

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2016年 第20週 （5月16日～5月22日）

## ★お知らせ

### ○伝染性紅斑（リンゴ病）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第19週の0.17から第20週では0.50と急増しています。高知市、中央東で増加し、高知市では注意報値を超えています。

伝染性紅斑は、皮膚の発しんを主症状とし、両頬がリンゴのように赤くなることから別称「リンゴ病」とも呼ばれます。約10日（4～20日）の潜伏期間の後、両頬に境界鮮明な紅い発しんが現れ、続いて体や手・足に網目状の発しんが広がります。これらの発しんは、通常1週間程度で消失しますが、多くの場合、頬に発しんが出現する7～10日前に、微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発しんが現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。

妊娠中（特に妊娠初期）に感染した場合、まれに胎児の異常（胎児水腫）や流産が生じることがあるので注意が必要です。

予防接種はありません。予防には、手洗い、咳エチケットが有効です。

### ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第19週の3.87から第20週では3.93とほぼ横ばいですが、中央東、中央西、幡多で増加しています。定点医療機関からのホット情報では、ロタウイルス8例、カンピロバクターが7例（うち2例は19週）が報告され、また基幹定点医療機関からの感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）も4例報告されています。

感染性胃腸炎の予防には、手洗いが有効です。外出先から帰った後やトイレの後、調理や食事の前には、石けんでよく手を洗い、タオルは共用せず専用のものにしましょう。また、調理をする場合はよく加熱（85℃で1分以上）しましょう。

ロタウイルスの予防方法には、任意による予防接種がありますので、かかりつけの医療機関に相談してください。

### ○百日咳に気を付けて！

定点医療機関からの報告が続いています。また、病原体検出情報では*Bordetella pertussis*（百日咳菌）が第19週の2例に引き続き、第20週も2例検出されています。

百日咳は、感染力が強いので注意してください。予防対策はうがい、手洗い、咳エチケットです。

生後6ヶ月未満の乳児では、無呼吸発作等、重篤になることがあります。

軽症でも菌の排出はあるため、予防接種をしていない新生児、乳児がいる場合は感染に対する注意が必要です。

感染予防のためにワクチン接種をお勧めします。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

### ○マイコプラズマ肺炎に気を付けて！

第20週は基幹定点からの8例に加えて、定点医療機関からのホット情報で5例、感染症情報収集システムでは11例の報告がありました。

マイコプラズマ肺炎は患者の咳によって飛沫感染するため、家庭内や職場内等での感染がよく見られます。感染を広げないためのポイントは、咳エチケットと手洗いです。

### ○夏型感染症（咽頭結膜熱（プール熱）・手足口病・ヘルパンギーナ）に注意しましょう！

これから夏に流行するこれらの疾病が流行期を迎えます。これらの疾病は接触感染、飛沫感染、患者の便による感染によって感染が拡大します。幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオル・コップ等を共用することは避けるなど、感染予防に努めてください。

## ★マダニの感染症(日本紅斑熱・SFTS)注意!

日本紅斑熱やSFTS(重症熱性血小板減少症候群)はマダニが媒介する感染症です。すべてのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、ダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。

マダニの活動が盛んな季節となりましたので、野山や畑、草むらなどに出かけるときは十分注意しましょう。長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、マダニ用の忌避剤を使用する等して、マダニに噛まれる事を予防して下さい。

吸血中のマダニを無理に引き抜こうとすると、マダニの体液が逆流させてしまったり、マダニの一部が皮膚内に残ってしまったりして化膿する場合がありますので、医療機関を受診し、処置してもらってください。

### 発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして(数日~2週間程度)発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと(ダニに刺されたこと)を申し出て下さい。

### ●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

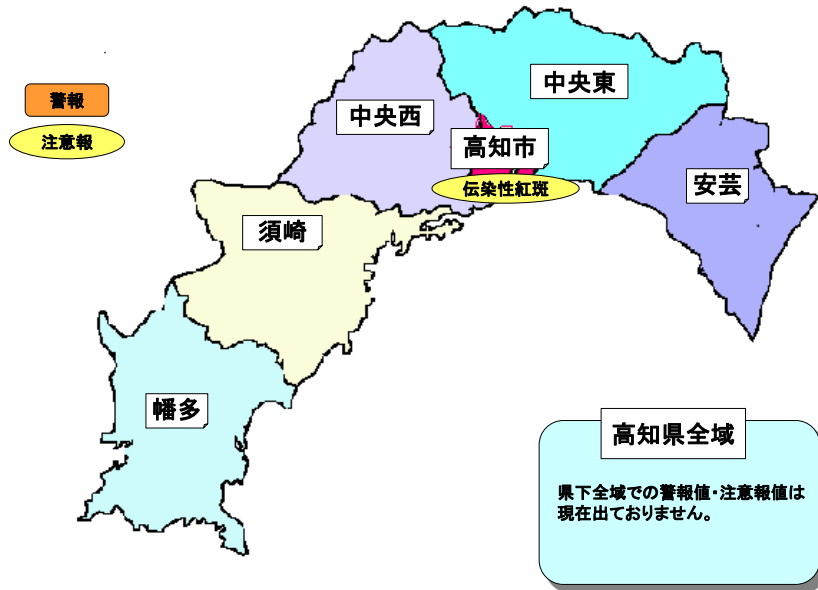
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

### ★県内での感染症発生状況

定点把握感染症 (上位疾患)  : 急増  : 増加  : 横ばい  : 減少  : 急減  
20週 (5月16日~5月22日)

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎		3. 93	中央東、中央西、幡多で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1. 40	幡多で増加しています。
流行性耳下腺炎		0. 57	中央西、高知市で増加しています。
伝染性紅斑		0. 50	高知市、中央東で増加し、高知市では注意報値を超えています。
咽頭結膜熱		0. 40	幡多、中央東、中央西で増加しています。

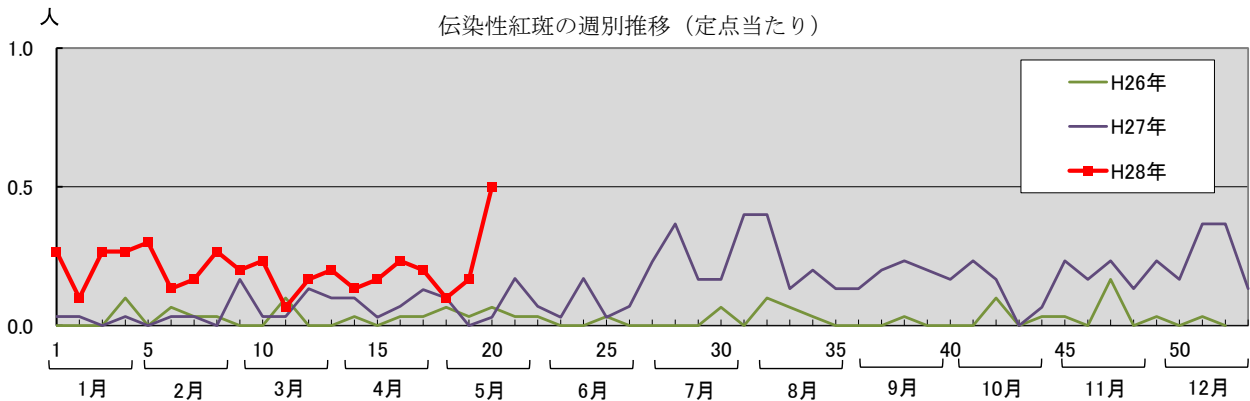
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

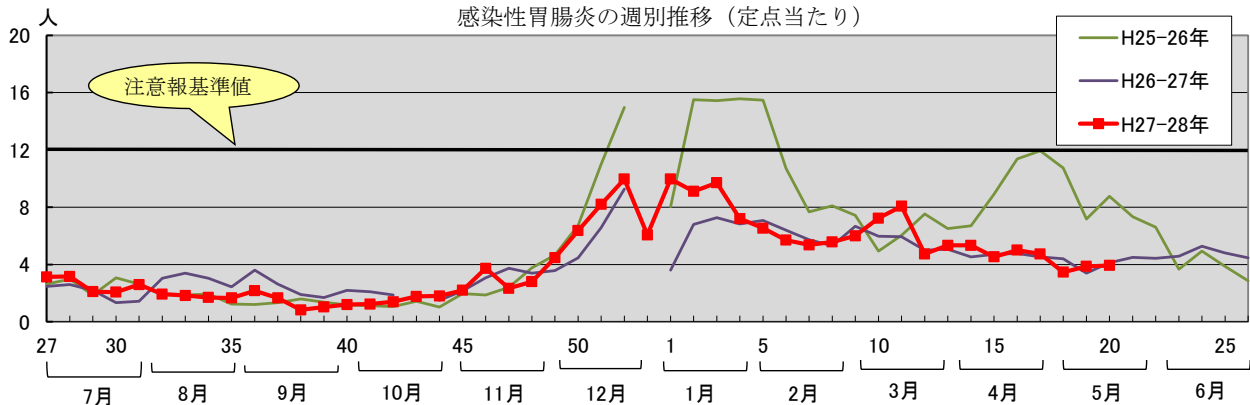
○伝染性紅斑 第20週： 0.50 (注意報値：1.00 警報値：2.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり0.50(前週：0.17)と急増しています。高知市1.09(前週：0.18)、中央東0.29(前週：0.14)で増加し、高知市では注意報値を超えています。



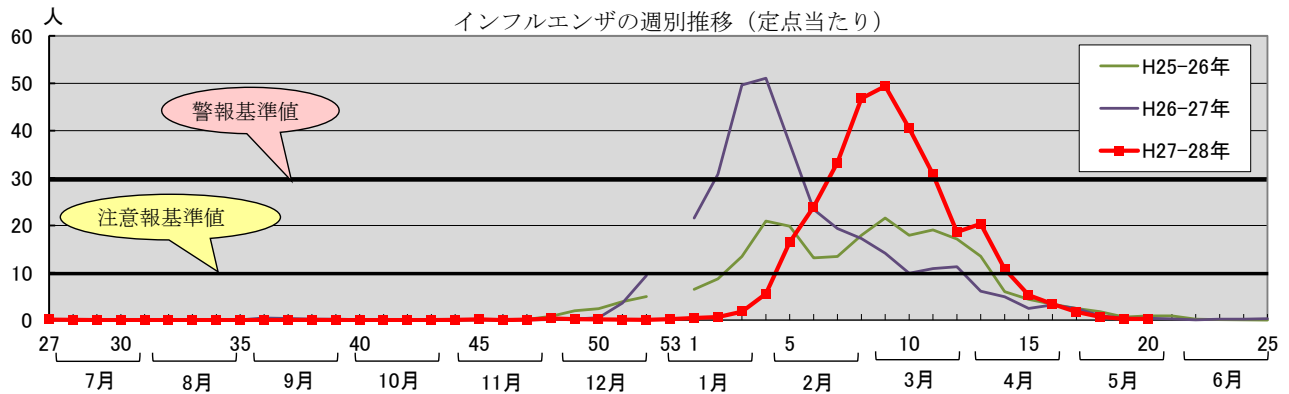
○感染性胃腸炎 第20週： 3.93 (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり3.93(前週：3.87)とほぼ横ばいです。中央東5.86(前週：5.14)、中央西4.00(前週：1.00)、幡多2.40(前週：1.00)で増加しています。



○インフルエンザ 第20週： 0.25 (注意報値：10.00 警報値：30.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.25 (前週：0.25) と横ばいです。須崎 1.00 (前週：0.75)、高知市 0.38 (前週：0.25) で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、今週よりグラフ横軸に第53週を挿入しています。そのため、H25-H26年とH26-H27年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
20	急性気管支炎	1ヶ月	女	幡多	Parainfluenza virus 3
20	百日咳	12	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
20	百日咳	7	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
16	ジアンノッティ病の疑い	3ヶ月	女	高知市	Rhinovirus
19	感染性胃腸炎	2	女	中央東	Sapovirus genogroup unknown
19	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	女	高知市	<i>Streptococcus pyogenes T4</i>
19	RSウイルス感染症、突発性発しん	9ヶ月	女	中央東	Human herpes virus 6

★全数把握感染症

第20週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	43	70歳代女	高知市
		1	44	90歳代女	中央西
		1	45	80歳代男	幡多
		1	46	20歳代女	中央東

## ★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	アデノウイルス扁桃炎1例（3歳女）
中央東	あけぼのクリニック	ロタウイルス胃腸炎1例（2歳）
		ヒトメタニューモウイルス感染症3例（2歳、3歳、9歳）
	高知大学医学部附属病院小児科	ヒトメタニューモウイルス肺炎1例（4歳女）
	早明浦病院小児科	アデノウイルス感染性胃腸炎2例（1歳男、3歳男）
	おひさまこどもクリニック	アデノウイルス扁桃炎2例（1歳、3歳）
		ヘルペス歯肉口内炎1例（3歳）
ヘルペス眼瞼炎1例（5歳）		
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎5例（4歳男、5歳男、10歳男、14歳男、16歳男）
		ロタウイルス腸炎3例（3歳男、5歳男、6歳女）
		百日咳1例（4歳女 PT-IgG160EU/ml以上）
		アデノウイルス扁桃炎3例（1歳男2人、1歳女）
		ヒトメタニューモウイルス（陽性）肺炎4例（0歳女3人、4歳男）
		カンピロバクター腸炎2例（9歳女、24歳男）
	細木病院小児科	カンピロバクター3例（5歳男女、6歳男）
		ロタウイルス3例（1歳男女、2歳女）
	三愛病院小児科	カンピロバクター腸炎1例（13歳女）※19週検出
	福井小児科・内科・循環器科	伝染性紅斑2例（9歳女、10歳女）
		咽頭結膜熱1例（2歳女）
		溶連菌感染症3例
高知医療センター小児科	ロタウイルス1例（3ヶ月女）	
	病原性大腸菌1例（8ヶ月男）	
中央西	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎2例（3歳男：中土佐町、4歳女：須崎市）
	日高クリニック	ヒトメタニューモウイルス感染症3例（1歳男、2歳男、3歳男）
須崎	もりはた小児科	カンピロバクター腸炎1例（12歳男）※19週検出

### ■ジカウイルス感染症の定義と発生届について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行令が一部改正され、平成28年2月15日からジカウイルス感染症が全数報告の対象となる四類感染症となりました。診断した医師は直ちに最寄りの保健所又は福祉保健所に届け出ることをお願いします。

●国立感染症研究所 ジカウイルス感染症のリスクアセスメント 2016年5月13日更新

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>

●厚生労働省検疫所 海外感染症情報

<http://www.forth.go.jp/index.html>

●外務省 海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

●国立国際医療研究センター ジカ熱/ジカウイルス感染症 2016年5月11日更新

<http://www.dcc-ncgm.info/topic/topic-ジカウイルス感染症/>

●ジカウイルス感染症 定義（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-44.html>

●ジカウイルス感染症 発生届様式（PDF）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/01-04-44b.pdf>

●ジカウイルス感染症について（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

★全国情報

第17・18合併号（4月25日～5月8日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核335例

3類感染症：コレラ1例、細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症20例

4類感染症：E型肝炎4例、A型肝炎4例、重症熱性血小板減少症候群1例、つつが虫病3例、  
デング熱4例、日本紅斑熱2例、レジオネラ症16例

5類感染症：アメーバ赤痢18例、ウイルス性肝炎1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症19例、  
急性脳炎9例、クロイツフェルト・ヤコブ病5例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例、  
後天性免疫不全症候群13例、侵襲性インフルエンザ菌感染症3例、  
侵襲性肺炎球菌感染症47例、水痘（入院例に限る）4例、梅毒50例、  
播種性クリプトコックス症1例、破傷風1例、風しん2例、  
薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

報告遅れ：E型肝炎4例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症5例、  
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症6例、急性脳炎3例、水痘（入院例に限る）4例、  
梅毒23例

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第20週 平成28年5月16日(月)～平成28年5月22日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第20週							計	前週	全国(19週)	高知県(20週末累計) H28/1/4～H28/5/22	全国(19週末累計) H28/1/4～H28/5/15
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ		1	1	6			4	12 ( 0.25)	12 ( 0.25)	3,353 ( 0.68)	14,824 ( 308.83)	1,576,160 ( 318.48)	
小児科	咽頭結核熱			4	3	1			4	12 ( 0.40)	7 ( 0.23)	1,700 ( 0.54)	71 ( 2.37)	20,948 ( 6.64)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	10	11	10	1		9	42 ( 1.40)	55 ( 1.83)	8,056 ( 2.56)	1,375 ( 45.83)	158,783 ( 50.30)	
	感染性胃腸炎	10	41	40	12	2		12	117 ( 3.90)	115 ( 3.83)	18,513 ( 5.88)	3,598 ( 119.93)	384,627 ( 121.83)	
	水痘		1	1	1			1	4 ( 0.13)	10 ( 0.33)	1,612 ( 0.51)	140 ( 4.67)	24,171 ( 7.66)	
	手足口病		2	2					4 ( 0.13)	3 ( 0.10)	279 ( 0.09)	18 ( 0.60)	2,268 ( 0.72)	
	伝染性紅斑		2	12	1				15 ( 0.50)	5 ( 0.17)	1,121 ( 0.36)	124 ( 4.13)	29,053 ( 9.20)	
	突発性発疹	1		6	1	1		1	10 ( 0.33)	13 ( 0.43)	1,802 ( 0.57)	169 ( 5.63)	25,129 ( 7.96)	
	百日咳			1					1 ( 0.03)	6 ( 0.20)	67 ( 0.02)	43 ( 1.43)	812 ( 0.26)	
	ヘルパンギーナ			4	1			2	7 ( 0.23)	2 ( 0.07)	335 ( 0.11)	21 ( 0.70)	1,572 ( 0.50)	
	流行性耳下腺炎			9	6	1		1	17 ( 0.57)	16 ( 0.53)	2,994 ( 0.95)	323 ( 10.77)	49,822 ( 15.78)	
RSウイルス感染症			1				2	3 ( 0.10)	8 ( 0.27)	326 ( 0.10)	569 ( 18.97)	22,011 ( 6.97)		
眼科	急性出血性結膜炎								( )	( )	10 ( 0.01)	( )	162 ( 0.23)	
	流行性角結膜炎			2					2 ( 0.67)	2 ( 0.67)	520 ( 0.75)	10 ( 3.33)	8,243 ( 11.95)	
基幹	細菌性髄膜炎								( )	1 ( 0.13)	10 ( 0.02)	1 ( 0.13)	159 ( 0.34)	
	無菌性髄膜炎			1					1 ( 0.13)	( )	27 ( 0.06)	5 ( 0.63)	355 ( 0.75)	
	マイコプラズマ肺炎		1	5				2	8 ( 1.00)	8 ( 1.00)	210 ( 0.44)	91 ( 11.38)	4,496 ( 9.49)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1					1 ( 0.13)	( )	7 ( 0.01)	24 ( 3.00)	151 ( 0.32)	
	感染性胃腸炎			4					4 ( 0.50)	4 ( 0.50)	177 ( 0.38)	227 ( 28.38)	4,271 ( 9.01)	
計 (小児科定点当たり人数)		13 ( 6.25)	62 ( 8.67)	109 ( 8.56)	33 ( 10.98)	9 ( 3.50)	34 ( 6.40)	260 ( 7.97)			41,119	21,633 ( 523.86)	2,313,193	
前週 (小児科定点当たり人数)		14 ( 6.50)	70 ( 9.51)	115 ( 9.23)	24 ( 7.73)	16 ( 7.25)	29 ( 5.80)		263 ( 8.24)					

注 ( ) は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第20週							計	前週	全国(19週)	高知県(20週末累計) H28/1/4～H28/5/22	全国(19週末累計) H28/1/4～H28/5/15
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ		0.25	0.09	0.38			1.00	0.25	0.25	0.68	308.83	318.48	
小児科	咽頭結核熱			0.57	0.27	0.33			0.40	0.23	0.54	2.37	6.64	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	1.43	1.00	3.33	0.50	1.80	1.40	1.83	2.56	45.83	50.30		
	感染性胃腸炎	5.00	5.86	3.64	4.00	1.00	2.40	3.90	3.83	5.88	119.93	121.83		
	水痘		0.14	0.09	0.33		0.20	0.13	0.33	0.51	4.67	7.66		
	手足口病		0.29	0.18				0.13	0.10	0.09	0.60	0.72		
	伝染性紅斑		0.29	1.09	0.33			0.50	0.17	0.36	4.13	9.20		
	突発性発疹	0.50		0.55	0.33	0.50	0.20	0.33	0.43	0.57	5.63	7.96		
	百日咳			0.09				0.03	0.20	0.02	1.43	0.26		
	ヘルパンギーナ			0.36	0.33		0.40	0.23	0.07	0.11	0.70	0.50		
	流行性耳下腺炎			0.82	2.00	0.50	0.20	0.57	0.53	0.95	10.77	15.78		
RSウイルス感染症			0.09			0.40	0.10	0.27	0.10	18.97	6.97			
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.23		
	流行性角結膜炎			2.00				0.67	0.67	0.75	3.33	11.95		
基幹	細菌性髄膜炎								0.13	0.02	0.13	0.34		
	無菌性髄膜炎			0.20				0.13		0.06	0.63	0.75		
	マイコプラズマ肺炎		1.00	1.00			2.00	1.00	1.00	0.44	11.38	9.49		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.20				0.13		0.01	3.00	0.32		
	感染性胃腸炎			0.80				0.50	0.50	0.38	28.38	9.01		
計 (小児科定点当たり人数)		6.25	8.67	8.56	10.98	3.50	6.40	7.97			523.86			
前週 (小児科定点当たり人数)		6.50	9.51	9.23	7.73	7.25	5.80		8.24					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869